

発電所だより

7月号

平成24年7月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

《新発電所長が就任いたしました》

6月27日付で、女川原子力発電所長の渡部孝男が取締役原子力部長に就任し、後任として、前東通原子力発電所長の津幡 俊^{つばた しゅん}が就任しました。



このたび、女川原子力発電所長に就任いたしました津幡俊です。女川原子力発電所は4度目の勤務となります。

安全最優先で、震災からの復旧作業、地震・津波に対する安全性をさらに高める対策を着実に実施することで、地域の皆さまから信頼され、安心いただける発電所を目指してまいります。

また、地域社会の一員として、いささかなりとも地域の復興のお役に立ちたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

《「こんにちは訪問」を実施しました》

女川原子力発電所では、地域の皆さまに発電所に関する情報をお知らせし、ご意見をいただく定例の対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

今回は、6月4日から15日にかけて、発電所所員が女川町と石巻市の牡鹿半島部の約4,400戸を訪問し、東日本大震災以降の設備の復旧状況や地震・津波に対する安全性向上に向けた取り組み状況などについてお知らせしました。

対話活動の中で皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営の参考とさせていただきます。



地域の皆さまからは「震災はいつ起きるか分からない。安全対策をしっかり進めてほしい」「二重三重の対策が取られており、心強く感じた」などのご意見をいただきました。

《1号機 原子炉建屋天井クレーン走行部の損傷について》

6月7日、1号機原子炉建屋5階に設置している天井クレーン^{*}の4カ所ある走行部のうち1カ所において、走行部の軸受が損傷していることを確認しました。

当面、1号機においては、当該クレーンで燃料集合体などを取り扱う作業等はないため、発電所の安全性に影響はありません。

原因は地震の影響によるものと考えていますが、現在、詳細な点検を実施しています。

なお、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありませんでした。

*天井クレーンは、原子炉建屋最上階に設置され、燃料集合体や原子炉格納容器・原子炉圧力容器の蓋などを吊り上げるための設備。

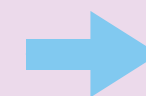
《2号機で耐震裕度向上工事を自主的に進めています》

耐震安全性向上策の一環として、これまでに実施した耐震評価や耐震裕度向上工事の経験^{*}等を踏まえ、5月8日より2号機において配管や電線管へのサポートの追加などの工事を自主的に行っています。

他の号機についても、順次、同様の工事を実施する予定です。



【対策前】



【対策後】

サポート追加

*女川原子力発電所では、平成20年5月から平成22年6月にかけて1～3号機あわせて約6,600カ所の耐震裕度向上工事を実施しています（写真は当時のもの）

《女川原子力発電所の状況について》

東北地方太平洋沖地震により、女川原子力発電所の全号機は設計どおりに自動停止し、安定した状態で安全に停止しています。

現在実施している定期検査の5月分として、トラブルおよびトラブルに該当しない軽度な事象はありませんでした。

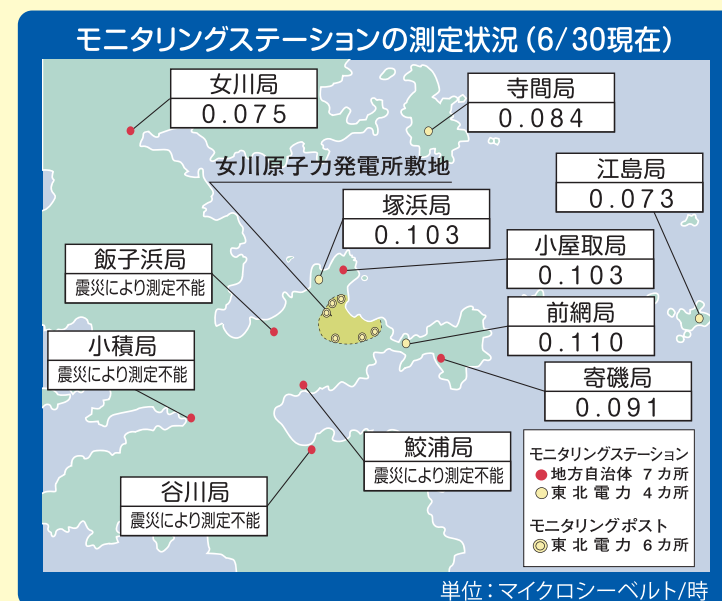
【発電所の運転状況（6月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	平成23年9月10日より第20回定期検査を実施しています
2号機	定期検査中	平成22年11月6日より第11回定期検査を実施しています
3号機	定期検査中	平成23年9月10日より第7回定期検査を実施しています

《女川原子力発電所周辺の放射線》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

現在の測定値は、東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い、震災前よりも若干高い値を示していますが、最大で0.086マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値		
平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21(最大値)※3
平成24年	1月1日	0.077~0.110
	2月1日	0.068~0.099
	3月1日	0.060~0.094
	4月1日	0.063~0.098
	5月1日	0.062~0.090
	6月1日	0.060~0.088
	6月30日	0.060~0.086

単位：マイクロシーベルト/時

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日の値、至近6カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて空気中の放射性物質の濃度や気象データを測定しています。
- ※3 最大値が測定されたのは約10分間です。この値は1時間で胸部レントゲン1回の値(50マイクロシーベルト)の約半分の値です。

《石巻市立寄磯小学校、石巻市立牡鹿中学校にて放射線出前教室を開催しました》

石巻市立寄磯小学校および牡鹿中学校それぞれの児童、生徒を対象に、放射線出前教室を開催しました。

当日は、東北放射線科学センターより講師を招き、放射線の基礎的な知識に関する授業に加え、霧箱を使った放射線の観察、測定器を用いた身の回りの放射線の測定実験なども行いました。



寄磯小5、6年生を対象とした授業の様子(5月9日)



牡鹿中1年生による霧箱実験の様相(6月1日)

参加者からは「放射線が私たちの普段の生活に普通にあることが分かった」「科学が発展して放射線の悪い影響を最小限に、そして、もっと役立つものになればいいなと思った」などの感想をいただきました。

《第11回 東北電力図画コンクールの作品を募集します》

女川原子力発電所では、未来を担う子供たちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいという思いから、毎年図画コンクールを開催しています。

今年も「想像の海の生きものたち」をテーマに、7月21日から8月31日までの期間で、小学生以下の皆さんからの作品を募集します。

A4サイズの画用紙に“自分が考えた海の生きもの”を自由に書いてご応募ください。応募者全員に記念品を差し上げます。

たくさんのご応募をお待ちしています。



前回コンクールで最優秀賞に選ばれた作品

詳細は女川原子力PRセンターまでお問い合わせ下さい

〒986-2221
 牡鹿郡女川町塚浜字前田123
 TEL/0225-53-3410
 開館時間/9:30~16:30
 休館日/毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)